

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	慢性炎症性脱髄性多発神経炎における短期転帰および長期再発を予測する電気生理学的指標の探索的研究		
1. 研究の目的と方法	慢性炎症性脱髄性多発神経炎（CIDP）は、進行性あるいは再発・寛解を繰り返す免疫性の末梢神経疾患であり、適切な免疫治療により多くの患者さんは改善しますが、一部の方では治療に対する反応が乏しく、長期的に再発を繰り返すことがあります。本研究では、多機関共同で構築された CIDP のレジストリである先行研究（RADDAR-J[79]）に登録された患者さんを対象に、診断時に必ず実施される神経伝導検査の所見より、その後の治療反応性や再発との関連性を解析します。多機関先行研究（RADDAR-J[79]）で取得した個人を識別できないように加工されたデータを先行研究の研究事務局から提供を受け、解析を行います。この研究を通じて、診断時に得られる神経伝導検査の所見から各患者さんの病態に応じたより適切な治療選択にむすびつけ、長期的な予後や生活の質の向上を目指しています。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2030 年 3 月 31 日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	多機関先行研究（RADDAR-J[79]）に同意され、参加された慢性炎症性脱髄性多発神経炎の患者さん		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	診断名、性別、年齢、既往歴、家族歴、嗜好歴、臨床症状、身体所見、検査結果（血液検査、髄液検査、画像検査、神経伝導検査）、治療情報	
	(4) 情報の取得の方法	多機関先行研究（RADDAR-J[79]）で取得されたデータを二次利用します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3) の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 内科学講座 脳神経内科
		氏名	小松鉄平
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	(1) の研究責任者と同じ	
	(4) 共同で研究 を実施する	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。	

	施設とその 責任者	
6. 試料・情報を他 機関とやり取り することについて	多機関先行研究（RADDAR-J[79]）に参加している施設から提供された情報を使用します。今回、新たな情報収集は行いません。データは先行研究の研究事務局である一般社団法人 kizuna より個人を識別できないように加工された状態で取得します。情報の提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。提供された情報は、研究責任者が保管・管理します。 提供方法：パスワード保護された電子ファイルとして、メールにて提供 試料・情報の利用または提供予定開始日：2025 年 9 月頃～	
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学 内科学講座 脳神経内科 研究責任者：講師 小松 鉄平（こまつ てっぺい） 窓口担当者：助教 奥村 元博（おくむら もとひろ） 電話番号：03-3433-1111（内線 3282） 対応時間：平日 9：00 ～ 17：00	

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。